

西日本豪雨災害・埼玉 RB・第一回災害支援活動レポート

7月の西日本豪雨災害に伴う災害支援活動として現地入りでのボランティア活動を7月23日に行いました。

派遣者は、代表・大森と会員・篠原の二名で14名乗りのワゴン車に支援物資（土のう袋、マスク、他）、資器材、バイク（グロム125）を車載7月22日 PM6:00に出発し高速道路を実走し約700キロ離れた岡山県倉敷市の災害ボランティアセンターに向かいました。途中タイヤのパンクというアクシデントはありましたが、翌23日 AM8:30に現地到着いたしました。初めに支援物資の受付を済ませ指定場所に下ろし、事前に依頼を受けましたサテライト送迎の支持を受け真備町箭田（まびちょうやた）サテライトは移動、そこからの指示によりこの日より新設した4か所目の呉妹診療所サテライトへ向かいました。移動中の道路には散水車によるホコリ防止の水がまかれておりました。ほぼ全線の両側に残土と瓦礫の山です。その量、計り知れず、、、被害にあった家屋は一階部分のほとんどが浸水した跡が残り生活できる状況にはありませんでした。決壊した土手は仮補修がなされ道路も車の往来ができるまでは復旧されておりました。よく二週間でここまで復旧したと思いました。これも市町村、住民、ボランティアが心をつにして行った結果だと感じました。片付したとはいへ 今後の瓦礫の撤去を考えますと気の遠くなる景色ではあります。東日本大震災では行方不明の捜索が長引いたために復旧は遅れていましたが、今回の水害はもちろん多くの方が亡くなりましたが早い段階で活動できたと思われま。

診療所サテライトに到着し管轄の責任者（森田様）とあいさつを交わすと、なんと岡山 RBの方と判明。しばしバイクボランティアのお話をいたしました。このエリアではすでにボランティアが現場入りして活動しておりましたので送迎ありませんでしたが、道路状況、現場確認のため森田様の案内で現場の視察を行いました。ボランティアが、泥出し 片づけを行っている現場に案内されましたが壁は剥がれ落ち泥だらけの家屋を目の当たりにし被害の大きさに驚きました。大汗をかきながら作業を進めるボランティアは会社関係のグループで大型バスで参加しており頭の下がる思いでした。我々は送迎等の待機車両としてサテライトの駐車エリアに戻りました。バイクを持参しておりましたので、篠原さんを待機に残し自分はバイクで近辺の調査と情報収集に走りました。今週末よりボランティア宿泊滞在のために解放されるキャンプ場も視察、険しい山の道を上りキャンプ場に到着。駐車場には NTT・ドコモ・AU の電話用のパラボラアンテナの基地局が設置されておりました。防災訓練では見ておりましたが実際に活用している姿を見ていち早く現地入りした専用車両を頼もしく思いました。キャンプ場は木々い囲まれた前面芝生のとても良い環境にありここなら長期滞在も可能と思えます。とにかくこの被災地でのボランティア受け入れ態勢は素晴らしいものがあり地元、県外に関係なく心をついでできる素晴らしい土地柄を感じ、災害の悲惨さ切なさを感じました。

さらに走行中小学校の校庭に瓦礫の山見つけました。ゴミ集積のダンプが列をなして、
おりましたかなり悪臭も出ており近隣の皆さんのストレスもいかなるものかと、、、
ごみ処理には時間と場所がそうとうかかると思われます。

待機中に昼食をとることにし お湯を沸かしカップメンをメインに試食を兼ねて持
ち込んだドライフーズのライスと常温で食べられるカレー等おいしく頂きました。

またサテライトは、診療所の駐車場を利用しておりましたので、多くの外来患者さん
が訪れておりました。診療所は屋根まで水没して すべてが流され診察できる状況には
ありませんが仮設のプレハブにて診療を再開しており仮設トイレもありここもまた早
くからの対応がなされたものと思います。被災者の心のケアも重要となりますので医師、
看護師さんも自分自身の心も大事にしつつ治療にあたっていたきたいと願います。

PM 3 : 0 0 過ぎに撤収指示があり片づけて帰路の高速へ向かいました。帰りも交代
で運転し順調に進み 24 日 AM 2 : 30 に帰宅いたしました。

自分は倉敷市には個人的思い出があります。若かりし頃仕事で何度もこの地を訪れ
ており自然環境や情緒ある街並みが大好きなところでした。目の当たりにした自然の恐
ろしさを学ぶとともに心温まる環境、人々とふれあい さらに倉敷市が好きになりました。
人間一人では無力、自然の猛威にも無力、しかし力を合わせ頑張れば、、、笑顔に戻
れる底知れ人間の強さを学んできました。

今回支援物資を提供くださいました方々に心より感謝申し上げます。また高速無料の
申請等バックアップしていただき感謝でいっぱいでございます。まだまだ復興には時間
とお金とマンパワーが必要です。また倉敷市にボランティアとして行けるよう努力と手
配を続けていきますので、埼玉 RB の皆さんには今後とも協力いただきますよう よろ
しくお願いいたします。

埼玉 RB 代表 大森 昭昌